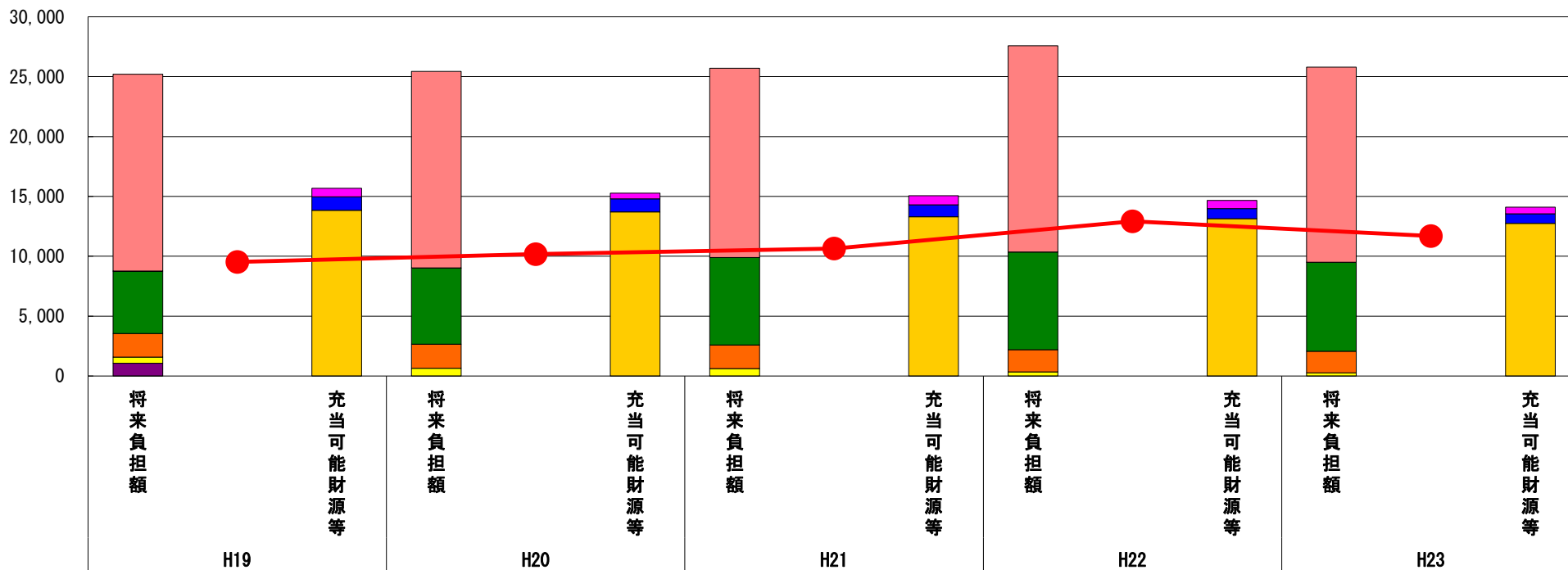


### (8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

北海道白老町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		16,434	16,411	15,799	17,223	16,282
	債務負担行為に基づく支出予定額		18	11	7	5	4
	公営企業債等繰入見込額		5,197	6,361	7,303	8,153	7,434
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		1,966	2,007	1,962	1,847	1,806
	設立法人等の負債額等負担見込額		520	646	627	352	263
	連結実質赤字額		1,066	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		715	471	755	679	560
	充当可能特定歳入		1,129	1,088	1,001	840	797
	基準財政需要額算入見込額		13,833	13,703	13,297	13,146	12,745
(A) - (B)	将来負担比率の分子		9,525	10,173	10,646	12,916	11,686

#### 分析欄

将来負担比率は、平成22年度対比で21.3ポイントの改善が図られているものの、依然として高い水準を示している。  
本町においては、過去からの大型事業に伴う地方債残高や下水道事業に係る繰入金などがその大きな要因であり、現在においては、建設事業の縮小等により、新規地方債の発行抑制と計画的な償還によって、数値の改善に努めていく。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。